

特別養護老人ホーム東かなまち桜園

手芸倶楽部新聞



バレンタインデーの開催となった第五回目の手芸倶楽部。新たな参加者やご家族も加わってとても賑やかに開催いたしました。今回の造花フラワーアレンジメントは桜の花やパインジーも仕入れたので、一気に春らしい華やかなアレンジメントができてきました。皆さん本当に、センスがいいんです。ご家庭で生活されていた時はきっと家の中に花を飾っていたのだと思います。慣れた手つきで活けていらつしやいました。刺し子組は二枚目の布巾もできあがった方が！ちょうど二週間かけて、毎日コツコツ続けた成果です。



伊藤機能訓練指導員より

昨年十二月より、月2回のペースでクラブ活動を行ってきました。参加者の数も十名程度と増えてきました。参加者の好みや能力に合わせて、刺し子やフラワーアレンジメントに取り組んでもらっています。楽しみとなる活動に参加してもらうことは、東かなまち桜園の理念である、「その人らしさを大切にすること」につながります。

今後も、入居者の楽しみづくり、意欲向上、認知機能向上を目的に、クラブ活動を展開していきたいと思っています。一緒に参加してくれる職員を大募集中です。各ユニットでクラブ活動に参加したいという声があれば、ご一報下さい。

次回は二月二十六日(水)、地域交流室にて十五時三十分より開催予定です。ご家族やボランティアの方の参加も大歓迎です。

2014年
2月14日号
第5号



編集後記：「縫い物は無理よ」そうおっしゃる A 様。身体にこわばりがあり私もちょっと難しいかなと無理強いはいませんでした。でも、刺し子に悪戦苦闘していた他利用者様を見て、A 様が手を差し伸べ教えてあげる姿が！しかも笑顔で「やってみたら縫えちゃったわ」と！それをきっかけに今では刺し子布巾が仕上がる程の腕前に！年をとっても可能性は無限大。残存能力を目一杯使って人生謳歌して欲しいです（平戸）